

みどりの女神が行く!



ミス日本みどりの女神

なりた あすみ
成田 愛純

皆さま、こんにちは。2022ミス日本みどりの女神の成田愛純です。みどりの女神としての活動もいよいよ本格的に始まり、すべてのことが新鮮で毎日わくわくしております。

生産者の努力によって 生み出された苗木

先日、山梨県内の林業を視察しました。山梨県は県土の森林が占める割合が78%もあり、全国3位の「森林県」です。

有限会社明見緑化さんでは、山梨県の森林づくりの根本となる苗木を生産しており、種から育てた苗木を山に植栽するまでの過程を見せていただきました。

種の採取と育成は、なかなか機械化できない分野であり、とてつもない労力と愛情が苗木に注がれていました。



▲50年後に想いを馳せて

そんな小さな小さな苗木が50年後に発揮するパワーと可能性をひしひしと感じました。

次に訪れたキーテックさんでは国産材にこだわった合板製造を行っており、林業・木材産業全体の活性化や環境安全の取り組みについて教えていただきました。ここでは丸太を紙のように薄くスライスしたり物凄い大型の乾燥機械があり、その性能の素晴らしさに驚きました。

ここで厳選された合板が、沢山の住宅や病院などに使われているそうです。



南部町森林組合の土場にて

次に訪れたのは南部町森林組合です。

扱う木材は「南部の木」としてブランドづくりを進めようとしていました。組合さんでは、輝く緑を未来へつなぐをスローガンに、美しい緑を守り後世へと繋いでいくための森林づくりに取り組んでいます。

南部町森林組合さんでは木材の品質を一瞬でランク付けできる機械を導入したことを、とても誇らしくお話しいただきました。多くの人が選ばれる組合であるために、頑張っておられる姿がとても心に残っています。

国産材加工施設内では定期的に木材共販が行われ、全国から木材を求めに来るそうです。前日にも市場が開かれ、敷地内には木の良い香りが漂っていました。

最後に訪れた有限会社天女山さんは山梨県認定林業事業体で伐採・植林・育林・木材販売を行なっている林業会社事務所です。

ここではチェーンソーで木を伐採しているところを目の前で見せていただきました。自分の思い通りの位置に倒す作業はとても難しく、またじっくり安全を確認しながら作業していらっしゃいました。大木は狙ったところにピタリと倒れ、その技術の高さに圧倒されました。

視察に行き私を感じたことは「知ることの大切さ」です。私たちの世代は土がアスファルトに、風の音や鳥の音が機械的な音に、葉や花の色が人工的な着色料に変わっていった過程を知りません。

森林には、変わる前の日本の姿、日本の原点があります。森林に足を運べばそれを体全体で感じるができます。私がみどりの女神になったことをきっかけに知ることができたように、この記事を通じて同世代の若い方々にもぜひ知ってもらい、今行われている林業の素晴らしい取り組みをこれから更に発展させながら引き継いでいきたいと思います。



▲森林組合に積まれた丸太